

各位

2003年2月14日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 増倉一郎
 コード番号 8233

2003年1月度 高島屋営業報告

主要店舗および広域事業売上高前年増減率

	売上高増減率(%)	入店客数増減率(%)	営業日数増減数
東京店	1.5	7.5	+1日
横浜店	0.8	4.8	+1日
新宿店	3.0	0.9	+1日
関東9店計	1.5	1.6	
大阪店	0.3	3.2	+1日
京都店	0.5	2.0	+1日
関西9店計	0.0	1.6	
全店計	0.9	1.6	
法人事業	4.1		
通信販売事業	12.9		
広域事業(店外)計	5.5		
合計	1.2		

各店の売上高増減率は、店頭ベース。

関東9店=東京、横浜、新宿、玉川、立川、大宮、柏、高崎、港南台

関西9店=大阪、和歌山、京都、洛西、堺、泉北、岡山、岐阜、米子

商品別売上高前年増減率(百貨店協会商品区分)

紳士服・洋品	2.9
婦人服・洋品	2.4
子供服・洋品	2.9
その他の衣料品	7.6
衣料品計	2.8
身の回り品	4.0
家具	11.1
家電	5.3
その他の家庭用品	5.1
家庭用品計	6.1
食料品	1.0
食堂・喫茶	2.5
雑貨	3.2
サービス	44.5
その他	21.4
合計	1.2

概況

百貨店事業	<p>売上高は1月2日の営業実施による営業日1日増(柏・高崎・米子店を除く15店舗)はあったものの、降雪等の天候不順に加え、主力である衣料品の動きが鈍く苦戦、全店計では2ヵ月連続で前年実績を下回った。福袋売上(+0.7%)は前年水準を確保、クリアランスセール(0.9%)は前年実績をやや下回る結果となった。</p> <p>店舗別では新宿店や柏店(+0.9%)、堺店(+8.6%)等は好調に推移したものの、東京店や大阪店等主力大型店は売上が伸び悩んだ。</p> <p>商品別では婦人雑貨(+3.4%)、特選衣料雑貨(+1.2%)、食料品(+1.2%)等が堅調に推移。一方、婦人服(2.6%)・紳士服(1.7%)は重衣料の動きがやや鈍く苦戦、子供服・ベビー(3.2%)や紳士雑貨(0.5%)等も前年実績を下回った。</p>
広域事業	<p>法人事業はイベントユニフォームの受注増により前年実績を確保したものの、通信販売事業は主力であるリビング関連等の不振で前年実績を大幅に下回った。</p>

以上